会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2016年　1月号

千葉県勤労者山岳連盟
Chiba Workers Alpin Federation

2016年　1月1日発行　　通巻273（毎月1回発行）

2016年こそは

無事故で行こう

１月号目次

・　目　次　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
・　１２月理事会報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
・　会・クラブ紹介「ふわくハイキングサークル」　・・・・・・・・・・・・・4
・　新年のご挨拶　広木会長　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
・　　　　　　　　吉田理事長　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
・　　　　　　　　桑原ハイキング委員長　・・・・・・・・・・・・・・・・7
・　事故防止交流集会報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
・　県連便り　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
・　１月・２月予定表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

表　紙　紹　介

　ふわくハイキングサークルの前身である「大原山の会」は、千葉県連創立に参加した伝統のある山の会です。

　その活動の中心は、ふるさと房総の自然を知り守る、自然保護の原点です。２０１５年１１月に開催された「自然保護セミナー」の講師をお願いした、う沢・ふわくＨＣ名誉会長は、創立当初から千葉県連の中心として活動をしてきました。特に房総の自然保護をライフワークとして活動しています。

　ふわくＨＣは、県連のロングハイク・クリーンハイクでは、コース案内、等でお世話になっています。

　鬼泪山を守る運動も、ふわくＨＣがあってこそ出来ました。今後も県連の中心として活動をお願いします。

2015年12月度理事会報告

■開催日時:12月17日(木)19:00～
■開催場所:船橋市西部公民館
■出席:ちば山、松戸、茂原、船山、ふわく、東葛、遠足、らんたん、かがりび、あびこ、こまくさ、民医連、全国理事、自然保護、ハイキング、教遭、救助隊、会長、理事長、副理事長、会計(山翠会理事兼任)、　以上21名
■配布資料
・ちば民報(2015/12/6号)
■議題
1. 委員会・救助隊報告
＊教育遭難対策委員会(岡田)
事故防止経験交流集会（12/5,6）
・参加　12会54名
・初日　事故報告（当該会より）、山道具のメンテ、最新道具の紹介（ヨシキスポーツ）、50周年報告
・二日目　ビバーク方法、ロープワーク（救助隊）
・ちばニュース１月号に報告掲載予定
＊ﾊｲｷﾝｸﾞ委員会(桑原)
・第32回房総ロングハイク すでに50名の応募有り
＊自然保護（菅井）
・2016/1/14委員会開催予定
・2016 クリーンハイク 6/5 予定、前夜七里川温泉泊で交流会の案有り
２．50周年関連（広木）
1)自然保護セミナー
・「山に親しみ　自然を守る」のタイトルでちば民報に掲載された
2)房総の山50選
・山の報告がまだ少ない→進捗状況がつかめていない
・安彦氏（東葛山の会）すでに50座完登
・県連ＨＰに情報を掲載→今後は山の他にも、温泉、グルメ情報なども充実させていきたい
３．全国連盟より（山本）
・登山時報の購読部数が2500～2600部と少なくなってきている→赤字続き
・内容を刷新するなど、抜本的な対策が必要であるが、今後は各県連の意見も取り入れていく
４．総会関連（広木）
・１月の理事会で来期の役員を決めたい
・事務局体制の確立が急務
５．災害支援報告（吉田）
・11/28,29南相馬・小高地区　15名参加（ちばニュース１１月号で報告済み）
・小高地区は来年３月で避難指示解除準備区域が解除される予定なので、個人宅からのニーズが増える見通し→
・NPOゆうは来年度も活動を継続していくが、石巻から福島へシフトを移す
６．その他
・　会員数の報告がまだされていない会があるので、至急報告願いたい

■今後の理事会日程について
・2016年1月21日(木)　場所:西部公民館　時間:19時より
・2月18日(木)場所:西部公民館
時間:19時より
■定期総会
・3月6日(日)　場所:千葉県総合スポーツセンター(予定)

『ふわくハイキングサークル』紹介　　会長　中原　紀代治

「会の生い立ち」

ふわくハイキングサークルは、大原町立大原小学校のOBによって誕生しました。当時、大原小の行事に親子ハイキングがありましたが、子供が卒業するとハイキングに行け無くなりました。そこでPTAのOBでハイキング会を作れば！となり、「大原山の会」が誕生しました。その後に1984年に分かれて、ふわくハイキングサークルが出来ました。　当初会員　50名　　2002年　233名

「会の理念」は、**熟年以上の者が気軽に入会でき、安く楽しく安全にハイキングに行き、山と自然をそして家族と仲間を、さらに平和を愛し、身もこころも健やかにしあう会です。**

「会の現状」

創立31周年を過ぎて、会員が高齢化で、会員が減りつつあり、平均年齢が７０歳近いです。会では、「生涯現役を目指す」を合言葉に頑張っています。会員数は、家族会員を入れ124名です。昨年は、50代女性が数名入り喜んでいます。

房総の山 50 選では、ほとんどの山に登っていますが、再度の登って記録を残したいと思います。

ロングハイクは、房総の山であるが為に、ふわくの担当となり頑張っています。
ふわくハイキングサークルは、創設者のう沢名誉会長が先頭に立って房総の山の自然を守る運動を展開してきた。房総の山を知り尽くしたう沢さんは、これまでに「歩いてみよう房総の自然」や房総の滝、酒蔵、温泉などを紹介する本の出版している。

最近の山行紹介（写真）

＊日光滝尾神社・田母沢御用邸記念館・憾満ヶ淵など、日光の歴史を学びながら歩いた、巨木や紅葉が素晴らしかった。

＊館山の沖ノ島、望年ハイク。（う沢さんの講演会）

19名参加、陸続きの無人島の沖ノ島散策し、安房自然村の「名主の館」でう沢さんの「日本の歴史から房総半島の位置と役割を考える」と題して講演会が開かれ、その後に宴を開いた。

会の運営で、特に力を入れて要ること。

１、安全登山、死亡事故０を継続する。
２、自然運動から事実を知ってみんなで解決する。
３、自分の体力に合ったハイキング、登山の実行と体力つくりの推進。
４、新会員を増やす。

新年おめでとうございます。

会長　　広木　国昭

２０１６年・千葉県連盟創立５０周年の記念すべき年を迎えました。
会員の皆様には、新たな山行に希望を持ち、夢を膨らませていることと思います。
今年度も大いに山を・自然を楽しんでいただきたいと思います。県連名としても、そのお手伝いとなる取り組みを計画していきたいと思います。
新年のご挨拶の場をおかりして、いくつかのお知らせとお願いをさせていただきます。

１、無事故で山行を楽しんでください。
　２０１５年度の報告された事故は、１２件で６件が転倒による手首・足首の骨折です。重大事故がなかったのは幸いで、一歩間違えれば重大事故になる事故もありました。
　軽度の事故は、重大事故につながる報告があります。全国の死亡事故は１２件と相変わらず多く、千葉県連名は絶対に死亡事故を起こさない決意をしましょう。

２、３月６日に県連総会が実施されます。
　今総会の大きな役目は、５０周年を迎えた県連名が、新たな目標に向かう組織をつくる事です。現在、県連名活動を進める理事会・役員会・各委員会が弱体しています。欠員の補充も含めて県連活動への参加をお願いします。

３、５０周年記念事業は昨年から取り組みを開始し、会・クラブから大勢の会員の参加をいただき計画通り進んでいます。
　記念事業の進捗状況について、簡単に報告をさせていただきます。

・　１０月のバリ島サンライズトレッキングには、９会・クラブより２４名の参加がありました。南の島の三山に登頂し、伝統の文化を楽しむことが出来ました。
　残念だったのは、２件の事故があった事です。記念行事の難しさを実感すると同時に、今後の県連名主催行事に対し、今回の経験を生かしたいと思います。
・　１１月１４日には、千葉県連自然保護の歴史を学び、その経験を引き継いで行くことを目的に「自然保護セミナー」を実施しました。　３人の講師を迎え３部構成で実施し、とても好評でした。今後の県連活動にとってとても有意義なセミナーでした。
・　１０月４日の鬼泪山でのキックオフで、みんなで登ろう「房総の山５０選」がスタートしました。２０１６年３月末までに、全会・クラブの参加で、ふるさと房総の自然・山・沢などの素晴らしさを再認識するために企画されました。大勢の参加をお願いします。
　２０１６年度の記念事業については以下の計画が確認されてします。
・　「５０周年記念誌」の発行については、全くの白紙です。早急に実行委員会をスタートさせて取り組んでいきます。
・　「創立５０周記念大交流会」は、４０周年記念で清和県民の森で実施した「交流キャンプ」のイメージで実施したいと思います。
　各会・クラブ・会員の皆様の参加・協力をお願いします。

今年も５０周年記念事業を中心に、千葉県連盟全会員の参加・協力をいただき活動して行きたいと思います。
２０１６年も、中身の見える活動を心がけで行きたいと思います。
よろしくお願いします。

新年のご挨拶

理事長　吉田　哲治

新年明けましておめでとうございます。

2015年は皆様にとってどのような一年だったでしょうか。県連としては、今年迎えます創立50周年の前段としていくつかの行事を企画させていただき、多くのご参加をいただきました。改めて感謝申し上げます。50年というのは一つの通過点に過ぎませんが、先輩諸氏が作り上げてきた県連の歴史を学ぶ良い機会になっていると感じます。

一方、目を社会情勢に転じますと、国内では安保法案（戦争法案）の強行採決、原発の再稼動、辺野古での新基地建設等々、断じて許すことのできない暴挙の数々が行われています。安保法案は、全国連盟理事会においても「憲法9条を守って、戦争しない日本を継続させ登山文化をさらに発展させるための声明」を出し、廃案にすることを求めています。原発の再稼動は、福島の事故を教訓として学ぶことをせず、これがあの悲惨な事故を起こした国のやることかと、支援活動で福島の現地に足を運ぶ度に悲しい気持ちになります。辺野古への基地建設は、沖縄県民の民意をまったく無視した言語道断のものです。普天間基地のある宜野湾市は私が育ったところであり、中学生の頃は頭の上を毎日のようにけたたましい爆音をたて、死の鳥と言われたB52爆撃機がベトナムへと飛び立っていきました。あの異様な光景は一生脳裏から離れることはないでしょう。危険性の除去のため唯一の解決策と辺野古基地建設を問答無用とばかりに強行しようとしていますが、沖縄県民の総意は普天間基地の全面撤去なのです。新たな基地建設は断じて許してはいけません。

平和なくして健全な登山文化の発展はありません。対外的な脅威に対し武力をもって抑止力とするにはあまりにも無力であるということは、ＩＳ（イスラム国）の台頭にみられる世界的なテロの頻発が証明しています。力で力を抑えることはできないのです。では何が必要なのか、平和というものを真摯に考える一年にしたいと思います。

また、「被災者に寄りそう支援を！」を根本理念として発足したNPOゆうの活動は、福島の現状を考え、今年度も継続していくことにしました。震災より5年、福島の他の被災地は十分とは言えないまでも復旧・復興へと歩みだしていますが、福島、特に第一原発に隣接している自治体は未だ帰還の目処すらたっていないところがほとんどです。５年もたちますと、被災地・被災者のことも忘れられていくのもやむを得ない面もありますが、現地の有り様を間近に見て感じ続けてきた者としては、出来る限りの活動は続けたいと思っています。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

明けましたおめでとうございます。

ハイキング委員長　桑原　年一

念頭に際して、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。
ハイキング委員会の行事もロングハイキングは 32 回・ウイークデー山行も 20 回を数える事になりました。
私もロングハイキングは委員になる前からで 25 回、ウイークデー山行は最初から 19 回と随分付き合ってきたものだと感慨無量です。その間色々の事があり、走馬灯の様に目に浮かびます。最近では昨年県連創立 50 周年記念の一環として先陣を切って大先輩の故吉尾氏の遭難レリーフの慰霊登山で谷川ゼニイレ沢に行った事です。
残念ながら豪雨の後で河原が通行止めになってしまい、一ノ倉でお参りとなりましたが帰りに記念碑に詣でて花束とワインと線香をあげて拝んだのでせめてもと思います。機会が有ったら又リベンジと思っています。
今年は私の干支の何回かの申年です。年は取りたくありませんが、今年は県連創立 50 周年の年でもあり、まだまだと思い皆様と一緒に頑張る所存ですのでよろしくお願い申し上げます。

ハキング委員長　桑原年一

第 32 回　房総ロングハイキング案内

主催　　　ハイキング委員会

・日　時　　2016 年 1 月 30(土)～01 月 31(日)　一泊二日　　(当日参加可)
・集　合　　七里川温泉：沖津屋　30（土）なるべく　15 時 30 分迄集合
　　　　　　31（日）当日参加　6 時 00 分集合
（君津市黄和田畑 921-1　　電話 0439-39-3211　　フリーダイヤル 0120-397428）
・31 日コース　七里川温泉脇～石尊山～麻綿原～一杯水林道分岐～W0（ツクバネ樫目印）入口～東大演習林）大平歩道入口地点～W15：烏帽子山々頂～W33：硯石分岐～向峰歩道～鶏毛山W45～民地～坂本駐車場ゴール　歩程約 8 時間 30 分（休憩 1 時間 30 分含む）
25,000/1　地図　　「上総中野」「安房小湊」参照
・募集人員　　60 名位
・参加費用　　6,000 円（一泊二食と弁当、移動費）
　　　　　　　当日参加 1,000 円（弁当、移動、）
・**締　切　　12 月 25（金）　各会責任者へ申し込む事**

※　すでに締め切りは過ぎて、定員に達しています。
　　当日参加者は、七里川温泉・沖津屋：6 時に集合下さい。
　　問い合わせは：千葉県勤労者山岳連盟のホームページ「事務局への問い合わせ」まで

2015 事故防止・経験交流集会の報告

教育遭難対策委員会　　岡田賢一

１２月５－６日、船橋県民の森「さざんかの家」にて、2015 事故防止・経験交流集会が開催されました。
「事故の再発防止」と「各会の交流」と「セルフレスキュー講習」を目的とするこの集会は 2009 年より始まり７回目の取り組みとなりましたが、本年は１３団体から５４名の参加を得て盛況裡に実行出来ました。
尚、今回は県連 50 周年記念事業とのダブりを防ぎ、また会場確保の関係上、従来の１１月第２週ではなく１２月第一週となり、関係の皆様には混乱と迷惑をお掛けした事をお詫び致します。そして、救助隊のメンバーを含め、各会の皆様に多大な協力を頂いて実施出来たことを、御礼申し上げます。

参加会は、山の会「岳樺クラブ」・松戸山の会 千葉こまくさハイキングクラブ・かがりび山の会・ふわくハイキングサークル・船橋勤労者山の会・東葛山の会・ちば山の会・まつど遠足クラブ１年さくら組・茂原道標山の会・千葉民医連・山を歩こう会・千葉アルパインクラブ　です。
今回は、「事故再発防止への取り組み」各会発表に加えて、山道具のメンテと最新情報の提供をヨシキスポーツさんにお願いしました。結果、多くの情報を得る事が出来て大いに役立ったと理解します（Ｆ社製品紹介他）。
そして、２日目の県連救助隊のセルフレスキュー講習では、低体温症等に関する机上講習と共に、屋外でのビバーク実技により、単なる装備紹介に留まらず現地での応用を含む内容となり、有意義に終了しました。
尚、本集会の成果を確認して頂き、各会で順次有用に展開して頂ければ幸いです。

ヨシキスポーツ・新素材の特徴紹介

事故防止・経験交流集会の成果を活かして下さい。

千葉県連の、２０１５年の事故は１２件、その中の６件が転倒による手首・足首の骨折です。これは、日頃のトレーニングや体調管理が重要です。天気の急変により落雷に遭遇、６人中３人が倒れしばらくの間反応がなく、気がつたときは手足が動かない状態だった。最近、落雷の怖さを軽視していた事を反省させられた。全国での死亡事故は１２件と多かった。特徴的なのは、心筋梗塞など持病に起因する事故が多くなり、通院を含めた体調管理が問われている。特に、高齢者は肉体的なトレーニングには熱心で日々努力しているが、健康チェックの重要な事を再認識してほしい。」

交流集会には積極的に参加し、他の会・クラブの事故例に学び、同種事故を絶対に起こさないで下さい。

―― 編集者 ――

県連たより

千葉県勤労者山岳連盟（千葉労山）

◎　県連盟事務所

〒262-0033

千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101 号室

ＴＥＬ・ＦＡＸ：　043-306-1190

Ｅメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp

ＪＲ総武線幕張本郷下車、海側　徒歩５分

（県連事務所に常駐者はいません）

◎　千葉県連ホームページ

http://www.cwaf.jp

県連盟への問い合わせは、上記ホームページ事務局への問い合わせまでお願いします。

◎　加盟会会員の事故一報送付先

教遭委員長・岡田　賢一

ken-ichi@f4.dion.ne.jp

Ｆａｘ：043-271-4704

事故一報は、全国連盟事務局にも必ず送付の事。

◎　「ちばニュース」原稿送付先

機関紙委員会・広木　国昭

danphiro@zpost.plala.or.jp

◎　連盟費振込み先

郵便振替口座　00160-3-481509

千葉県勤労者山岳連盟

◎　東日本大震災・支援金振込み先

口座番号：ゆうちょ銀行

００２４０－８－９８４１９

加入者名：ＮＰＯ法人　ちば労山ゆう

代表者　吉田　哲治

◎　その他、県連盟、全国連盟への、

ご意見・問い合わせなどは・広木まで

ＮＰＯ法人「ちば労山ゆう」

「ちば労山ゆう」とは、東日本大震災を支援するために、千葉県勤労者山岳連盟を母体として活動を始めた、被災者支援ＮＰＯ法人です。

◎　「ちば労ゆう」への入会は

千葉県連盟ホームページから

常時入会出来ます。

・入会申し込みは

http://www.cwaf.jp/contact/10-2/

・「ちば労山ゆう」への問合せは

http://www.cwaf.jp/contact/09-3/

◎　支援活動日のお知らせ

・１月・２月はお休みします。

◎　支援物資販売活動について

皆様のご協力により、交通費の補助に役立っています。

引き続きご協力をお願いします。

三陸・気仙沼直送の支援物資は

「おさしみわかめ」「さしみこんぶ」

「くきわかめ」「すき昆布」

「とろろこんぶ」

おさしみこんぶは、鍋料理、昆布巻きにするとおいしいと評判です。

宅配も、相談下さい。

支援物資に関する問い合わせは

下記アドレスに連絡を！

danphiro@zpost.plala.or.jp

県 連 活 動 予 定 表

1月		行事予定	2月		行事予定
1	金		1	月	女性委員会
2	土		2	火	役員会
3	日		3	水	
4	月		4	木	
5	火		5	金	
6	水		6	土	
7	木	役員会	7	日	
8	金		8	月	
9	土		9	火	
10	日		10	水	
11	月		11	木	
12	火		12	金	
13	水		13	土	
14	木	自然保護委員会	14	日	
15	金		15	月	
16	土	ふれあいハイク実行委員会	16	火	
17	日		17	水	
18	月		18	木	理事会
19	火		19	金	
20	水		20	土	全国総会
21	木	県連理事会	21	日	〃
22	金		22	月	
23	土		23	火	「ゆう」役員会
24	日		24	水	
25	月		25	木	
26	火		26	金	
27	水		27	土	
28	木		28	日	
29	金		29	月	
30	土	房総ロングハイク			
31	日	〃			

発行者 ： 千葉県勤労者山岳連盟
〒261－0013 千葉市花見川区幕張本郷 1－29－18
レジデンス幕張台 101号室
TEL･FAX 043－306－1190 （事務所に常駐者はいません）
発行責任者 ： 吉田 哲治 編集責任者 ： 広木 国昭
問い合わせ先 ： 千葉県勤労者山岳連盟ホームページ 事務局への問い合わせ